

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち
施策No.	6	施策名	水産業の振興
主管課名	農林水産課		
関係課名			

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・資源管理が行われ、安定した漁獲量が保たれています。 ・漁業の後継者が育っています。 ・魚津の魚が評価され、たくさん消費されています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、安全で新鮮な地場産食材を利用します。 ・事業者は、沿岸漁業資源を増やす努力や海を資源とした新しい事業(海業)に取り組みます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業生産基盤の強化と漁業経営の安定化を図ります。 ・水産業の担い手や後継者育成と新規就業者の支援を行います。 ・「安全・安心」「高品質」な水産物の栽培とブランド化や地産地消を図ります。
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体(漁協等)と連携して、水産業の振興に努めます。

市民意識調査結果	<p>< 施策満足度調査結果 > ※27年度は「実感度」</p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.023</td> <td>0.115</td> <td>0.064</td> <td>0.044</td> <td>0.051</td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.023	0.115	0.064	0.044	0.051	
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度							
0.023	0.115	0.064	0.044	0.051								
<p>< 施策重要度調査結果 ></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.681</td> <td>0.648</td> <td>0.580</td> <td>0.953</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.681	0.648	0.580	0.953			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度								
0.681	0.648	0.580	0.953									

施策のトータルコスト	区 分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	23 (20)	22 (18)	23 (19)	24 (20)
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	17 (14)	4 (4)	5 (5)	5 (5)	
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	3 (3)	16 (12)	16 (12)	16 (12)	
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	3 (3)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	—	—	—	—	
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	44,106	26,877	43,254	150,156	
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	9,766	6,238	16,218	105,969	
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	18,640	19,939	26,336	34,087	
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	15,700	700	700	10,100	
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	—	—	—	—	
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	66	66	68	46	
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	6,000	5,940	6,000	4,000	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	26,394	24,912	26,292	16,724	
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	70,500	51,789	69,546	166,880	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の	円	—	—	995	610	993	3,480
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	596	566	604	388
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	1,591	1,176	1,597	3,867
	I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	—	—	—	—
参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	4,181
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	43,152

基本事業概要シート①

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名①		水産業生産基盤の整備強化	
基本事業①の目的(意図)		資源が管理され、安定した漁獲量を維持しています。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【栽培増殖振興対策事業】 ・魚介類などの水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイの稚魚やアワビ、クルマエビの種苗を放流しました。(H27放流量 ヒラメ:25,000尾、クロダイ:24,700尾、アワビ:4,000個、サザエ:5,000個、クルマエビ:40,000尾) ・「第35回全国豊かな海づくり大会」(H27.10 射水市)の機運醸成を目的に、魚津港完成記念式典(H27.6.21)の際に市内児童によるヒラメの稚魚の放流を行いました。</p> <p>【内水面漁業振興対策事業】 ・河川の水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、アユ、イワナ、ヤマメの種苗を放流しました。(H27放流量 アユ:105,000尾、イワナ:7,100尾、ヤマメ:6,000尾)</p> <p>【漁港整備事業】 ・老朽化が進む経田漁港について、「水産物供給基盤機能保全事業」を活用して保全工事を進めています。発注済みの3工事(H26からの繰越を含む)については、2件が完了し、1件は28年度に繰り越しました。</p> <p>【漁港維持管理事業】 ・経田漁港内に堆積する砂の浚渫工事やマリーナ施設の浮棧橋の補修を行いました。 ・経田漁港の管理について、指定管理者制度により魚津漁業協同組合を指定管理者として指定して協定を締結しました。(指定期間:H28.4.1~H33.3.31 5年)</p>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市場での水揚量	t	3,424	3,500 4,227	3,700 4,791	3,800 4,078	3,900 4,739	4,000 5,010	4,100 4,775	4,500 130
船揚施設利用船舶数	隻	119	120 109	125 117	130 106	130 89	130 93	130 91	130

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 栽培増殖振興対策事業	2,114,000	1,524,000	590,000	A	農林水産課
2	一般会計	○ 内水面漁業振興対策事業	600,000	600,000	0	A	農林水産課
3	一般会計	○ 漁港維持管理事業	3,700,000	3,333,960	366,040	A	農林水産課
4	一般会計	○ 水産多面的機能発揮対策事業	1,876,000	1,875,152	848	A	農林水産課
5	一般会計	○ 漁港整備事業	144,552,000	98,635,860	45,916,140	A	農林水産課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
合計			152,842,000	105,968,972	46,873,028		

基本事業概要シート②

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名②	水産業経営基盤の整備強化と担い手育成		
基本事業②の目的(意図)	漁業の後継者が育っています。		
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【漁業経営安定対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成を行いました。 ・東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業経営者に経営安定のための支援を引き続き行いました。 ・急速に発達した温帯低気圧(H26.12)の影響により定置網の破断等の被害を受けた2経営体に対して、漁網購入費の一部を支援しました。 ・省エネ化エンジンに切り替えた漁船3隻に対して、導入に係る費用の一部を支援しました。 <p>【漁業振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津漁業協同組合が漁業活性化計画に基づいて推進する「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して、引き続き支援しました。 <p>【漁業後継者育成対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者の獲得のための説明会、研修会等の開催に対して支援しました。 <p>【一次産業担い手育成事業(地方創生)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水産業担い手事業」「水産業育成事業」を創設しました。 		

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)							
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)	
漁業者数(漁協正組員)	人	220	220 224	220 214	225 206	225 208	230 214	240 211	250	
ボートヤード利用隻数	隻	74	60 74	65 69	70 65	75 65	80 67	90 71	100	

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	船員窓口事務	3,000	900	2,100	-	農林水産課
2	一般会計	富山県北方領土復帰促進協議会参画事業	130,000	130,000	0	-	農林水産課
3	一般会計	海上保安協会富山県支部参画事業	9,000	9,000	0	-	農林水産課
4	一般会計	あいの風海域沿岸首長会議参画事業	20,000	20,000	0	-	農林水産課
5	一般会計	港湾公衆便所管理業務	392,000	373,356	18,644	-	農林水産課
6	一般会計	漁協女性部助成事業	40,000	40,000	0	-	農林水産課
7	一般会計	沖合漁業・出漁団助成事業	71,000	62,584	8,416	-	農林水産課
8	一般会計	魚津港振興会助成事業	200,000	200,000	0	-	農林水産課
9	一般会計	経田漁港振興会助成事業	40,000	40,000	0	-	農林水産課
10	一般会計	水産都市協議会参画事業	8,000	8,000	0	-	農林水産課
11	一般会計	養鯉振興会参画事業	5,000	5,000	0	-	農林水産課
12	一般会計	○ 漁業経営安定対策事業	18,591,000	18,078,444	512,556	A	農林水産課
13	一般会計	○ 漁業振興事業	15,000,000	15,000,000	0	A	農林水産課
14	一般会計	○ 漁業後継者育成対策事業	840,000	120,000	720,000	B	農林水産課
15	予算なし	漁業許可申請事務	0	0	0	-	農林水産課
16	予算なし	水難救助法事務	0	0	0	-	農林水産課
17	一般会計	一次産業担い手育成事業(施策4②再掲)	(1,333,000)	(1,333,000)	0	-	農林水産課
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			35,349,000	34,087,284	1,261,716		

基本事業概要シート③

施策No.	6	施策名	水産業の振興
基本事業名③	魚のブランド化と地産地消の推進		
基本事業③の目的(意図)	魚津産魚の料理講習会や給食食材の提供など食育も行いながら、地産地消を推進します。		
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津のさかなブランド化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sea級グルメ全国大会や各地の物産展等に出店し、魚津の魚の「美味しさのPR」、「消費拡大」、「魚津ブランドの確立」等に努めました。 ・魚津ブランドの定着が進む寒ハギ「如月王」、「バイ飯」については、ブランドの確立と知名度の拡大を図るためのPRや販売活動を行いました。 <p>【魚食普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内8市町(魚津市、富山市、滑川市、黒部市、高岡市、射水市、入善町、朝日町)が連携し、「富山県おさかな普及協議会」が実施する「魚の料理講習会」、「給食食材の提供」等の普及活動に対して支援しました。 <p>【水産資源開発事業】(地方創生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用魚や低価格魚を活用した新商品「アジ天点」の開発、生産設備の導入、これを使用したメニュー開発を行うとともに、販路開拓やPRを行いました。 		

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)							
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)	
市場での水産物取扱額	百万円	1,631	1,700	1,800	1,900	2,000	2,050	2,100	2,150	
			1,570	1,555	1,465	1,457	1,626	1,571		

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 水産資源開発事業	9,400,000	9,400,000	0	A	農林水産課
2	一般会計	魚食普及事業	200,000	200,000	0	-	農林水産課
3	一般会計	○ 魚津のさかなブランド化推進事業	500,000	500,000	0	A	農林水産課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			10,100,000	10,100,000	0		

施策No.	6	施策名	水産業の振興
-------	---	-----	--------

27年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水揚げ量は、市の目標値を超えて推移しています。昨年は、平成26年の5,010トンには及びませんでした。4,775トンの水揚げがありました。 ◆港施設を利用する船舶は、平成26年度に若干の増加がみられましたが、未だ減少傾向にあります。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆漁業従事者は、平成24年度以降には増加に転じ、平成26年度は214人となりましたが、昨年は211人に減少しました。 ◆ボートヤードの利用隻数は、ほぼ横ばいで推移し市の目標値に及びませんが、平成26年から若干の増加が見られるようになり、昨年は71隻(前年比4隻増)になりました。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆減少傾向が続いていた取扱額は、平成26年に16億円を超える大幅な増加がありましたが、昨年は15億7千万円に減少しました。しかし、これは平成22年度実績を上回っています。 ◆市民意識調査結果では、「地場産食材をほぼ毎日使っている人」の割合は29.6%で前年に比べ減少しました。また、ほぼ横ばいで推移し市の目標値には達していません。しかし、「週に数回使っている人」の割合は48.3%となっており、市民の地産地消に対する意識は高いと考えられます。
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (27年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)
<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <p><栽培増殖振興対策事業、内水面漁業振興対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイの稚魚やアワビ、クルマエビの種苗を放流しました。また、河川においてアユ、イワナ、ヤマメの種苗を放流しました。(H27放流量 ヒラメ:25,000尾、クロダイ:24,700尾、アワビ:4,000個、サザエ:5,000個、クルマエビ:40,000尾、アユ:105,000尾、イワナ:7,100尾、ヤマメ:6,000尾) ◆老朽化が著しい経田漁港について、平成26年度から「水産物供給基盤機能保全事業」による保全工事を進めています。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <p><漁業経営安定対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「魚津市水産業経営安定補助金交付要綱」に基づき、急速に発達した温帯低気圧(H26.12)による定置網の破断等被害のあった2経営体に対して、漁網購入費の一部を支援しました。また、省エネ化エンジンに切り替えた漁船3隻に対して、導入に係る費用の一部を支援しました。 <p><漁業振興事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津漁協が漁業漁業活性化計画に基づいて実施している「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して支援しました。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <p><魚津のさかなブランド化推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津ブランドの定着が進む寒ハギ「如月王」、「パイ飯」のPRや販売活動に対して支援しました。 <p><水産資源開発事業>(地方創生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆他市にはない未利用魚や低価格魚を活用した新商品「アジ天点」の開発、生産設備の導入、またこれを使用したメニューを開発し、販路開拓やPRを行いました。 	
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)	
<p>【①水産業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水揚げ量は増加傾向にありましたが、昨年は平成26年度の大幅に増加した水揚げ量には及びませんでした。水産資源の保全と確保を図り漁場の生産性を高めるため、稚魚や種苗の放流を引き続き行っていきます。 ◆経年劣化した経田漁港については、機能保全事業計画に基づき、「水産物供給基盤機能保全事業」を活用して保全工事を進めていきます。また、以前より問題となっている港湾内の砂の堆積については、同事業により浚渫工事が可能となるよう機能保全事業計画の変更手続きを進めます。 <p>【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆厳しい経営環境にある漁業経営者に対して、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成や東日本大震災で甚大な被害を受けた漁業経営者に経営安定のための支援を引き続き行っていきます。 ◆新造船の建造や漁船への省エネ・省力化設備の導入、また経営等に甚大な被害をもたらす様な災害等が発生した場合には、要綱に基づく支援を行います。 ◆漁業従事者は以前に比べて増加しているものの、市の目標値には達していません。本市の基幹産業である水産業の活性化のため、新規担い手の育成、確保が求められています。引き続き、「漁業後継者育成対策事業」や「一次産業担い手育成事業」を推進していきます。 ◆観光船運航事業は、総合戦略の主要事業に定めており、また新しい「海業」創出の一つに捉えていることから、関係団体等と調査、検討を進めます。 <p>【③魚のブランド化と地産地消の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き品質管理の徹底や魚津産魚介類のブランド化を推進していかなければなりません。各地の物産展等への出店や「Sea級グルメ全国大会」の誘致など魚津ブランドを全国に発信するイベント等の開催に取り組みます。 ◆寒ハギ「如月王」、「パイ飯」については、認知度の高まりがみられますが、一層のPRや販売促進活動を強力に進め、普及、販売拡大に努めていきます。 	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	<ul style="list-style-type: none"> ◆水産資源の管理と豊かな漁場づくりなど魚津産の魚介類の確保に努めること。 ◆付加価値の創造(ブランド化、商品開発、6次産業化)を促進し、漁業経営の健全化、安定化を推進すること。 ◆徹底した品質管理のもと、鮮度や安全などを確保したブランド化、6次産業化、高品質化に努めること。 ◆漁業従事者の確保、担い手の育成に努め、漁業の活性化に努めること。 ◆みなとオアシスSea級グルメ全国大会の平成29年度魚津市開催の実現を目指すこと。また、大会ではみなとオアシス魚津や魚津の魚介類を含めた魚津の魅力を広く全国にPRすること。 ◆観光船運航事業については、関係団体等と効果、コスト、体制の在り方、継続性等を協議し、近隣市町との連携も含めて事業化を目指すこと。
---	---

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆付加価値の創造(ブランド化、商品開発、6次産業化)を促進し、漁業経営の健全化、安定化を推進します。 ◆平成29年度に魚津市で開催される「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」において、魚津の魚介類を含め、みなとオアシス魚津を広く全国にPRします。 ◆近隣市町との連携も視野に入れ、観光船運航事業の事業化を検討します。
---------------------------------	---

28年度開始 の第10次基 本計画におけ る対応施策	施策No.	施策名	基本事業①	水産業生産基盤の整備強化
	6	水産業の振興	基本事業②	水産経営基盤の整備強化と担い手育成
			基本事業③	魚のブランド化と地産地消の推進
			基本事業④	
第9次基本計 画からの変更 点	変更なし。			